

## 事業計画書

1. 申請する法人について													
法人名		特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム											
法人の設立登記日		2008	年	1	月	11	日						
法人設立前の団体の設立日			年		月		日	※NPO法人設立前に任意団体等で活動実績がある場合は記載する					
ホームページ・SNS	ホームページ	<a href="https://hatoyama.info/">https://hatoyama.info/</a>					Facebook						
	X (旧Twitter)						YouTube						
	Instagram						その他						
活動歴・これまでの活動実績 <各活動90字以内>	活動①	平成20年 環境省モニタリングサイト1000里地調査(人為的インパクト、水環境、大型動物赤外線調査)を鳩山町石坂の森で平成26年まで実施											
	活動②	令和元年 熊井の森トラスト活動開始(7か所 総面積2.7ha)、クラウドファンディング57万円達成											
	活動③	令和4年 熊井の森自然学校を開校、鳩山SATOYAMA写真展開催											
	活動④	令和6年「あなたの知らない鳩山の絶景写真展」開催、熊井の森里山づくり(埼玉県森林ボランティア活動育成事業)、協生農法パイロット事業開始											
	活動⑤	令和7年 令和6年度彩の国埼玉環境大賞(優秀賞)受賞、熊井の森/自然共生こもれびファーム事業・自然共生さとやま保全再生事業開始、石場沼下谷津田ビオトープ事業開始											
助成金等の交付実績  ※ 2023年4月～2026年3月に交付された助成金等を記載  ※ 5件以上ある場合は、直近のものから5件を記載		助成金等名称			交付者			交付年月		交付額			
	助成金等①	埼玉県みどりの活動支援補助金			埼玉県			2025	年	10	月	254,000	円
	助成金等②	森林ボランティア活動育成補助			埼玉県			2025	年	5	月	58,906	円
	助成金等③	武州・入間川プロジェクト助成			入間川環境保全支援委員会			2025	年	5	月	192,295	円
	助成金等④	サイサン環境保全基金			公益財団法人サイサン環境保全基金			2025	年	4	月	148,731	円
	助成金等⑤	武蔵野銀行みどりの基金			公益信託武蔵野銀行みどりの基金			2026	年	3	月	340,000	円
申請する事業に従事する社員		氏名				役割							
	社員①	愛場 謙嗣				代表理事、業務全般管理担当者							
	社員②	愛場 結偉				副代表理事、ハト麦天日干し竹切り出し・自然解説担当者							
	社員③	嵯峨 千代美				理事、ハト麦栽培事業包括担当者							
	社員④	井田 清				理事、業務全般管理担当者							
	社員⑤	瓜生 康三郎				理事、事業全般管理担当者							
	その他従事社員数	2				人					会計担当者1人、広報担当者1人		
	従事社員総数	7				人							

## 2. 申請する事業について

事業名	ハト麦収穫体験イベント	事業区分	ステップアップ支援事業	事業分野	ゆたかな自然
事業対象	鳩山町熊井の森とその周辺	対象地域	鳩山町熊井の森とその周辺	事業実施期間	2026/7/1 ~ 2027/2/28

### 解決したい地域課題及びその現状<300字程度>

当団体が関わっている鳩山町の里山(熊井の森)は、戦後、林業が成り立つ山林ではなくなり、これまでに、産廃置場やゴルフ場用地、そして太陽光発電施設用地などの開発の波が次々と押し寄せ、里山への関心が薄れ、管理負担を伴う”お荷物”化していた。しかし、脱カーボンが叫ばれ生物多様性の重要性への認識が高まる中で、今一度、里山に目を向け、地元の方々と共に、ノスリなどの猛禽類も生息する里山の魅力を再発見し、現代社会のニーズに応えた地域ぐるみの新たな取り組みが求められている。当団体は、上記の課題の解決に向けた事業として、自らが当事者(地主)となる熊井の森でのトラスト用地取得(現在、2.7ha)を展開している。

### 上記の地域課題の解決に向けた事業の概要<300字程度>

当団体は山林ゾーンの保全を「熊井の森／自然共生さとやま保全活用事業」として続けてきたが、山林ゾーンの保全のためには、その臨縁部に広がる谷津田の保全再生にも取り組む必要があるという認識に至り、その取り組みを「熊井の森／自然共生こもれびファーム事業」と名づけ、昨年度は谷津田を含めた里山全体を広義のビオトープと捉え、休耕地の一部を冬水田んぼとし、一部(面積1反)をハト麦の栽培用地として再生する作業を行った。そして本年度は、里山の現代的価値の発見につなげていく試みとして、「ハト麦収穫体験イベント」を実施したい。

### 事業効果(※事業の効果はどのように県内広域に及ぶか、単一市町村内で行う事業の場合は、事業の効果が他の地域にどのように裨益するのか具体的に記載)<300字程度>

一般にハト麦を使った商品は大量生産・大量販売が前提である。大型耕作機械を使わない無農薬・天日干しによるハト麦栽培の場合は、収穫量に限界があり、高額な収益を上げるのは困難である。しかし、ハト麦商品は美容健康食品として根強い人気があり、環境負荷の少ない農産物であり、購買者に環境保全に貢献できる商品としての認知が強まれば、収益を見込める作物となる可能性がある。その先駆的事例となれば、当団体の取組みが町内他地域の休耕地活用の一つの選択肢として、また、里山環境保全にも貢献できる事例提供となる。

### 事業の発展性(これまでの取組を踏まえ、事業の自立的な運営や効果的な実施に向けてどのような工夫・改善を行うか具体的に記載)<300字程度>

ハト麦という農産物販売で安定財源を確保するまでには相当の事業経験を要するが、①食育イベントと組み合わせることで参加料を取り、事業経費に充てる、②イベント参加者のアンケート結果を基にイベント企画の修正、商品開発の参考に、③ハト麦栽培の経験を積み、その栽培ノウハウを外部に提供し普及を図る、④食育環境保全ボランティアの獲得に務める。それらを通して、事業の自立的な運営を実現したい。

### 事業の先駆性・モデル性(※事業の手法など他団体の取組のモデルとなり得るポイントを記載)<300字程度>

環境保全活動は自主財源の確保が難しく、助成金頼りになりがちなのが現状である。里山保全も地権者の高齢化、山を管理する後継者不在、山林の負の財産化など問題は山積みである。そうした現実にあって、いわゆるよそ者たち自身が”山林所有の当事者”となり、地元の方々(山林所有者であり谷津田の耕作者でもある)と悩みと苦労を共にしながら、ハト麦栽培を通して、自分たちの”居場所”である里山の保全再生に向き合う取り組みは、新しい環境保全のあり方のひとつのモデルとなるのではないかと。

### 対象地域や事業規模の拡大(※ステップアップ支援事業のみ、これまでの事業から具体的にどのように拡大させるのか具体的に記載)<300字程度>

現在、ハト麦栽培を行っている土地は休耕地11筆(約5700㎡)のうち、1筆(1130㎡)だけだが、「休耕地を使ってほしい」という申し出は地元から多く寄せられており、耕作面積の拡大は容易である。ハト麦栽培を食育環境教育のアイテムとしてグレードアップ(食育イベント参加料収入の確保)、ハト麦粉を原料とした魅力的な商品開発を行い、環境保全に寄与できる「ふるさと納税品」にするとか、健康食品ネットで販売するなどして収益事業化を図り、地域や行政との連携でボランティアスタッフを確保し、有償ボランティア(手弁当主義から脱却し、活動実費相当の日当を支払う)基盤を確立し、法人としての自立性を向上させたい。

—

### 3. 申請事業の具体的な取組内容

取組 ①	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)		
	ハト麦栽培		新規	7月 ~ 9月	鳩山町	熊井地区石場沼の谷津田		
	取組の目的<200字程度>							
	「ハト麦収穫体験イベント」(10月3日)の実施には、参加者が収穫を体験できるハト麦の確保が必須である。そのための準備作業(広報、草取り・水撒きなどの栽培作業、天日干し用竹の切り出し、イベント会場整備)を行う。また、ハト麦栽培の準備段階から当日のイベント終了までの作業全般に関わり、里山再生の意義と現状をより理解する機会にってもらうため、イベント当日参加者と作業協力者も募集するポスターを作成する。							
	取組の内容<100字程度>							
	7月/ポスター作成掲示、7月~8月/草取り、水撒き、9月/天日干しハザ掛け用竹の切り出し、ハザ替え体験スペースの確保、10月3日収穫イベントの実施							
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額	
	町内および近郊市町村在住者		月 2回 × 4か月 = 8回		各回 4名 × 8回 = 32名		1名あたり 0円 × 32名 = 0円	
	従業社員数		ボランティア数		連携団体数		連携する団体の名称(役割)	
	16名		16名		2団体		奥武蔵マウンテンバイク友の会・坂戸支部(事前準備作業協力)、鳩山ニュータウン住民自治会(広報)	

取組 ②	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)		
	ハト麦収穫体験イベント		新規	10月 ~ 10月	鳩山町	熊井地区石場沼の谷津田		
	取組の目的<200字程度>							
	秋の一日(10月3日、予備日4日)の午前中にハト麦の収穫を体験し、無農薬栽培・天日干しの価値を知っていただき、お昼にはハト麦粉でつくったパンケーキを試食。午後にはビオトープを見学して、谷津田休耕地が抱える問題点(獣害被害、耕作地への復元の困難さ等)と、生物多様性に優れた里山の魅力を学習してもらう。							
	取組の内容<100字程度>							
	10月2日(金) イベント会場整備、10月3日(土) ハト麦収穫イベント開催(刈取り、試食、ビオトープ見学)、12月初旬 収穫したハト麦粉末バック(50g)とアンケート用紙を同封し、参加者に送付							
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額	
	町内および近郊市町村在住者		月 1回 × 1か月 = 1回		各回 30名 × 1回 = 30名		1名あたり 0円 × 30名 = 0円	
	従業社員数		ボランティア数		連携団体数		連携する団体の名称(役割)	
	4名		3名		2団体		奥武蔵マウンテンバイク友の会・坂戸支部(事前準備作業協力)、鳩山ニュータウン住民自治会(広報)	

取組 ③	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)									
				~											
	取組の目的<200字程度>														
	取組の内容<100字程度>														
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額								
			月	回 ×	か月 =	0 回	各回	名 ×	0 回 =	0 名	1名あたり	0	円 ×	0 名 =	0
従業社員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)												
名	名	団体													

取組 ④	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)									
				~											
	取組の目的<200字程度>														
	取組の内容<100字程度>														
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額								
			月	回 ×	か月 =	0 回	各回	名 ×	0 回 =	0 名	1名あたり		円 ×	0 名 =	
従業社員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)												
名	名	団体													

取組⑤	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)								
	取組の目的<200字程度>													
	取組の内容<100字程度>													
	対象者		事業実施回数		参加者数合計		事業収益見込額							
			月	回 ×	か月 =	0 回	各回	名 ×	0 回 =	0 名	1名あたり	円 ×	0 名 =	円
	従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)										
	名	名	団体											

#### 4.申請事業の目標

事業全体の目標				
No.	目標	目標値	測定方法	
1	休耕地活用としてのハト麦栽培活動に参加するボランティア協力者の数の割合 現在、10人程度	20人	当法人調べ	
2	谷津田の大切さの理解度の向上 初回イベント参加者を理解度の分母として複数年間実施し比較	70%以上	アンケート調査	
3	ハト麦を使った試食アンケートを実施し、商品開発のヒントを探る 満足度(味、食感、料理の簡便さなど)項目別	90%	アンケート調査	
4				
5				
各取組の成果指標				
No.	取組名	目標	目標値	測定方法
取組①	ハト麦栽培	ハト麦収穫量	70kg	当法人調べ
取組②	ハト麦収穫体験イベント	イベント参加者数	30人	当法人調べ
取組③	0			
取組④	0			
取組⑤	0			

## 5. 申請事業の実施に向けた課題とその解決のための取組・工夫等

課題①	具体的な課題	財政的自立の確保
	課題解決のための取組・工夫	今回は参加者数の確保と、東武東上線駅構内でのポスター掲示条件が「参加費無料」のため、イベント参加料は「なし」とする。来年度以降は「3000円」程度の有料とし、イベント当日の運営経費は捻出し、助成金に頼らないでも開催できるようにしたい。さらに、ハト麦の生産量を確保し、ハトムギ健康食品を市場に出荷し、環境保全活動の自主財源としたい。
	目標	次年度のイベント参加料収入9万円、3年目も同じ。
課題②	具体的な課題	人材不足・社員の高齢化
	課題解決のための取組・工夫	働き世代のほとんどは共稼ぎであり、週末に自由に使える時間は少ないのが現実。また独身の若い世代はほかに様々な関心事があり、環境保全活動に関わる者と出会える機会がなかなかない。当団体は、若者の参加は大いに歓迎するが、むしろ、定年を迎え、自由に使える時間と体力と意欲のあるシニア世代に積極的に働きかけて社員の拡大を目指したい。
	目標	社員の増(現数から10人増)
課題③	具体的な課題	他団体との連携・協働体制
	課題解決のための取組・工夫	大学等教育機関と連携を図るために、地元行政の仲介を依頼する。また、埼玉県内の環境保全活動団体のネットワークを利用して、協力者を募る。
	目標	新たな協力団体数(目標2団体の増)

## 6. 3年後(2029年度)、法人がどのように成長しているか<300字以内>

3年後には、熊井の森／自然共生さとやま保全活用事業と自然共生こもれびファーム事業が行政と地元さらに認知され、熊井の森が里山の生物多様性の学習フィールドとして町民憩いの森(熊井の森こもれびパーク)となり、里山と谷津田を再生活用する運営団体(熊井の森こもれびパーク管理組合)が設立し、当法人はハト麦栽培やエコツーリズム事業などで得た収入で財政的自立を果たし、管理組合を支える役割を果たせるような団体へと成長したい。

## 収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム  
事業名 ハト麦収穫体験イベント

1. 収入の部				387,147							
項目		予算額(円)		積算内訳							
<b>a.助成金交付申請額</b>		387,000		※千円未満切り捨て/採択区分により補助率と交付額が変わる可能性があります							
<b>b.自己資金</b>		147		※自動計算							
<b>c.事業実施による収入等</b>		0		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)	0	円	×		人	×		回	
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
<b>d.その他</b>		0		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
(収入の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
2. 支出の部				387,147							
項目		予算額(円)		積算内訳							
<b>a.会場費</b>		0		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
(支出の内容)		(該当する事業)	0		×			×			
<b>b.通信運搬費</b>		4,200		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	イベント参加者30人へ試食アンケート用ハト麦パック(アンケート用紙同封)を送付	(該当する事業)	事業2	4,200	20 円	×	210 円	×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0		×		×			
(支出の内容)		(該当する事業)		0		×		×			
<b>c.旅費交通費</b>		8,750		金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	7月期ハト麦栽培(水やり、土寄せ、肥料撒き)作業 ガソリン代 3日間延べ9台	(該当する事業)	事業1	2,250	250 円	×	9 延べ台数	×			
(支出の内容)	8月期ハト麦栽培(草取り、水やり)作業 ガソリン代 2日間 延べ8台	(該当する事業)	事業1	2,000	250 円	×	8 延べ台数	×			
(支出の内容)	9月期ハト麦収穫準備作業(竹切り出し、ハザ木組立)ガソリン代 2日間 延べ8台	(該当する事業)	事業1	2,000	250 円	×	8 延べ台数	×			
(支出の内容)	9月期イベント前日作業(イベント会場整備)ガソリン代 1日間 4台	(該当する事業)	事業2	1,000	250 円	×	4 延べ台数	×			
(支出の内容)	10月期イベント当日運営作業(当日イベント運営) 1日間 延べ6台	(該当する事業)	事業2	1,500	250 円	×	6 延べ台数	×			

d.消耗品費				109,197	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	熱中症対策飲料水 1ケース500mmL24本入り 3ケース	(該当する事業)	共通経費	2,940	980	円	×	3	箱	×		
(支出の内容)	ハト麦栽培①草刈り替刃、草刈機燃料、麻ひも、土のう 別紙①参照	(該当する事業)	事業1	11,000	11,000	円	×	1	件	×		
(支出の内容)	ハト麦栽培②ローリータンク、水タンク、コンテナ台車 別紙②参照	(該当する事業)	事業1	51,340	51,340	円	×	1	件	×		
(支出の内容)	ハト麦収穫イベント(テント、ブルーシート、刈取り鎌、参加者提供試食材料) 別紙③④参照	(該当する事業)	事業2	35,917	35,917	円	×	1	件	×		
(支出の内容)	広報ポスター(カラーA2サイズ、30枚)のプリント代	(該当する事業)	共通経費	8,000	8,000	円	×	1	件	×		
e.備品費				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
f.委託費				15,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	イベント全体の広報ポスターデザイン料	(該当する事業)	共通経費	15,000	15,000	円	×	1	件	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
g.謝金				70,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	切り出した竹の運搬車両(軽トラ)提供協力者への謝金	(該当する事業)	事業1	20,000	5,000	円	×	4	件	×		
(支出の内容)	イベント当日参加者対象のハト麦及び里山ビオトープ自然解説ガイドへの謝金 2人	(該当する事業)	事業2	20,000	10,000	円	×	2	名	×		
(支出の内容)	ハト麦畑水撒きのための水タンク運搬車両(軽トラ)提供協力者への謝金	(該当する事業)	事業1	30,000	10,000	円	×	3	件	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
h.人件費				180,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	7月期ハト麦栽培(水やり、土寄せ、肥料撒き)作業 3日間 延9人	(該当する事業)	事業1	45,000	5,000	円	×	9	名	×		
(支出の内容)	8月期ハト麦栽培(草取り、水やり)作業 2日間 延8人	(該当する事業)	事業1	40,000	5,000	円	×	8	名	×		
(支出の内容)	9月期ハト麦収穫準備作業(竹切り出し、ハザ掛け場所の確保、ハザ木組立)2日間 延8人	(該当する事業)	事業1	40,000	5,000	円	×	8	名	×		
(支出の内容)	10月期イベント運営作業(前日イベント会場整備、当日イベント運営) 2日間 延9人	(該当する事業)	事業2	45,000	5,000	円	×	9	名	×		
(支出の内容)	12月期イベント参加者にハト麦パック及びアンケート用紙の発送 1日間 2人	(該当する事業)	事業2	10,000	5,000	円	×	2	名	×		
i.その他				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		